

記入例

※実在する団体とは
関係ありません。

様式第1号（第4条、第7条関係）

事業計画書（~~変更事業計画書~~）

※応募時は事業計画書ですので、
「変更事業計画書」に取消線を引
くか削除してください。

団体名 〇〇の会

事業名	〇〇〇イベント		
事業の区分	(A) スタート事業 (B) 協働チャレンジ事業		
事業の目的、事業実施 により得られる効果 など	湖西市の（この地域の）現状は〇〇…。この事業を実施することで△△と いった効果を得ることが期待できる。 湖西市の（この地域の）〇〇は、この事業によって△△のように改善でき る。		
事業の期間	交付決定の日から 〇年 〇月 〇日 まで		
事業の内容 ・実施予定日 ・内容 ・開催場所 ・対象 ・参加見込人数 ※別紙資料添付可	【事業名】 〇〇〇イベント 【実施予定日】 〇年〇月〇日 【内容】 市民が一つの場に集まり、ふれあいの場を創出するために、イベント を開催する。 イベントでは… 【開催場所】 〇〇館 【対象】 高齢者から子どもまで幅広い世代 【参加見込人数】 〇〇〇人		
事業費総額	〇〇〇,〇〇〇円	補助申請額	〇〇〇,〇〇〇円
一緒に取り組みたい 市の担当課 ※協働チャレンジ事業のみ	〇〇課		
担当課の役割 ※協働チャレンジ事業のみ ※市担当課が記入。複数選択可	1. 広報（市広報紙や SNS による） 2. 情報の提供・共有 3. 活動場所の提供 4. 行政機関等との連絡調整 5. 団体の実施するイベント・講座等への参加（講師等含む） 6. その他（ ）		

事業が実施される期間を
記入してください。

補助の対象となる事業について、具体的
にご記入ください。
必要な場合は資料を添付していただく
ことも可能です。
単発のイベントだけでなく、補助期間内
で継続的に行う事業も申請可能です。

協働チャレンジ事業に応募する場合は「一緒に取り組みたい市の担当課」を記入してください。
市の担当課へ「担当課の役割」欄の記入をお願いする際には、「こんな形で協働したい、協力してほしい」と
希望を伝えましょう。市の担当課が協働方法について検討し、書類を記入してお返しします。
※内容によっては1週間以上かかる場合もありますのでお早めにご相談ください。

財源確保策 ※協働チャレンジ事業のみ	〇〇からの協賛金や〇〇マルシェの出店料を財源として確保する。
補助金申請回数	1 回

スタート事業は必ず「1 回」です。

< 確認事項 >

補助対象団体・補助事業要件をチェックするため、一つひとつ内容を確認し、右の欄へチェックをいれてください。

1. 補助対象団体について、該当する右の欄へチェックを入れてください。

特定の政党を若しくは宗教を支持し、又はこれに反対する活動を行う団体ではありません。	✓
暴力団員等（湖西市暴力団排除条例（平成 24 年湖西市条例第 34 号）第 2 条第 3 号に規定する暴力団員等をいう。）又は当該暴力団員等と密接な関係を有する団体等の統制下にある活動をしていません。	✓
納税義務者に対して給与の支払いをしていません（給与の支払いをしている場合は、特別徴収確認書（様式第 4 号）を併せて提出してください）。	✓

2. 補助対象事業について、該当する右の欄へチェックを入れてください。

営利を目的とした事業ではありません。	✓
特定の個人又は団体が利益を受ける事業ではありません。	✓
継続又は発展が見込めない事業ではありません。	✓
公序良俗に反する事業ではありません。	✓
湖西市の他の補助金等の交付を受ける見込みはありません。	✓
施設等の建設、修繕又は整備を目的とする事業ではありません。	✓
補助対象事業の企画又は実施について、補助対象団体が主体的に行います。	✓